

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書

(平成29年度)

園名 ( 一粒園認定こども園 )

	評価基準	評価内容
I	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	○一人ひとりの子どもの発達的自由と個性を尊重した教育・保育が実践されており、保育教諭の言葉かけも温かさがある。
II	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	○午前中は2～5歳児が同じフロアで縦割りで自由に活動しており、子どもたちの「自分がやりたい、やってみよう」という気持ちを大切にされた保育が実践されている。
III	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	○縦割り活動の中で、年長クラスの子どもの年少児を世話する姿も見られる。集団の中で育つことを大事にしている。
IV	小学校との連携	○子どもが運動会・音楽会・体験入学等の小学校行事に参加する機会がある。 ○保幼小連絡会や小学校の先生が来園して子どもの様子を見学したり、園から就学先の小学校を訪問したりするなどし、情報交換を適切に行っている。
V	教育・保育の内容の保護者への説明	○保育理念、方針、目標について、「入園のしおり」や「園だより」で保護者に説明している。 ○行事ごとの園長あいさつの際や、母親教室(年6回)、個人面談(4・5歳児年2回)で保護者の理解を深める機会がある。
VI	職員の資質向上のための取組	○自己評価を1学期に1回行い、保育の振り返りを行っている。園内・外部研修に参加した職員が外部研修後にレポートを作成し、内容を職員会議で伝達している。 ○保育についての個人的な相談は主幹保育士が対応し、助言やケース会議での検討、共通理解を図り、資質向上に取り組んでいる。
VII	安全管理	○ホームページは、外部からのアクセスが制限されており、個人情報保護などのセキュ

		<p>リテイに注意が払われている。</p> <p>○防災訓練を毎月実施し、AED講習も保育教諭・保護者参加で実施している。</p> <p>○衛生管理・安全チェックを徹底し、0・1歳児については、午睡の間5分おきにSIDチェックを行い、記録している。</p>
VIII	地域の子育て拠点としての取組	<p>○バザーや祖父母招待会などの各行事、園庭開放や子育て相談などを通して、子育ての拠点となっている。</p> <p>○地域の地区長と連携をとり、園を地域の第一避難所として登録するなど地域貢献に寄与している。</p>
IX	地域において子育て支援を行う団体との連携	<p>○中学生のトライやるウィークの受け入れや看護実習生の受け入れ、保育体験（市の保育教諭のたまごたち）、バザーや地域交流などの様々な行事において丁寧に連携している。</p> <p>○発達支援センターと年間12回の連携をとっており、歯科医師会から派遣された歯科衛生士による歯磨き指導なども受けている。</p>